



日本製紙株式会社
NIPPON PAPER INDUSTRIES



特種東海製紙株式会社

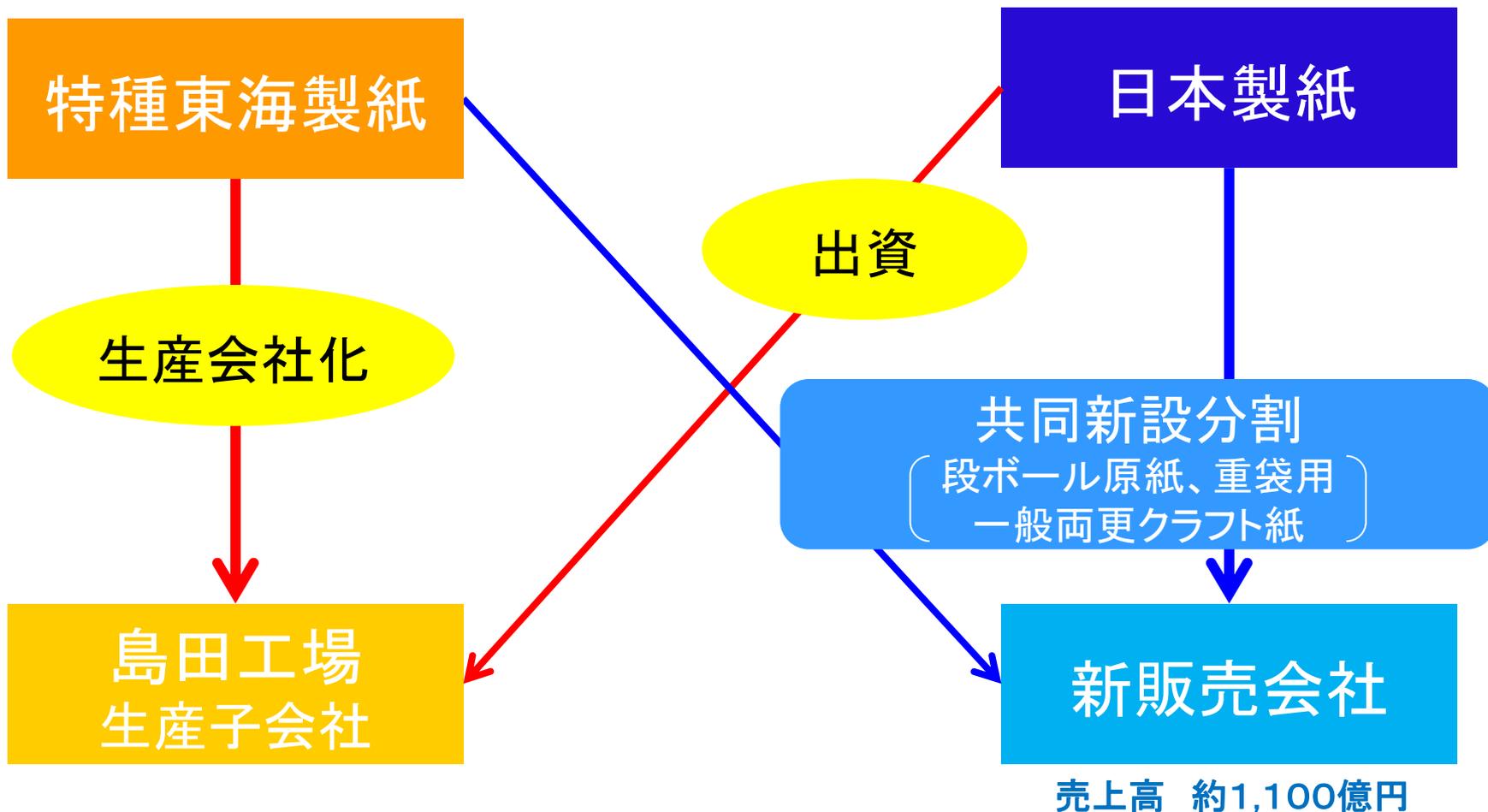
『段ボール原紙及びクラフト紙事業に関する基本合意書の締結』について

2015年10月7日

日本製紙株式会社

特種東海製紙株式会社

事業提携の概要



特種東海: 50%超(連結子会社)
日本製紙: 33.4%~50%未満(持分法適用会社)

日本製紙: 50%超(連結子会社)
特種東海: 33.4%~50%未満(持分法適用会社)

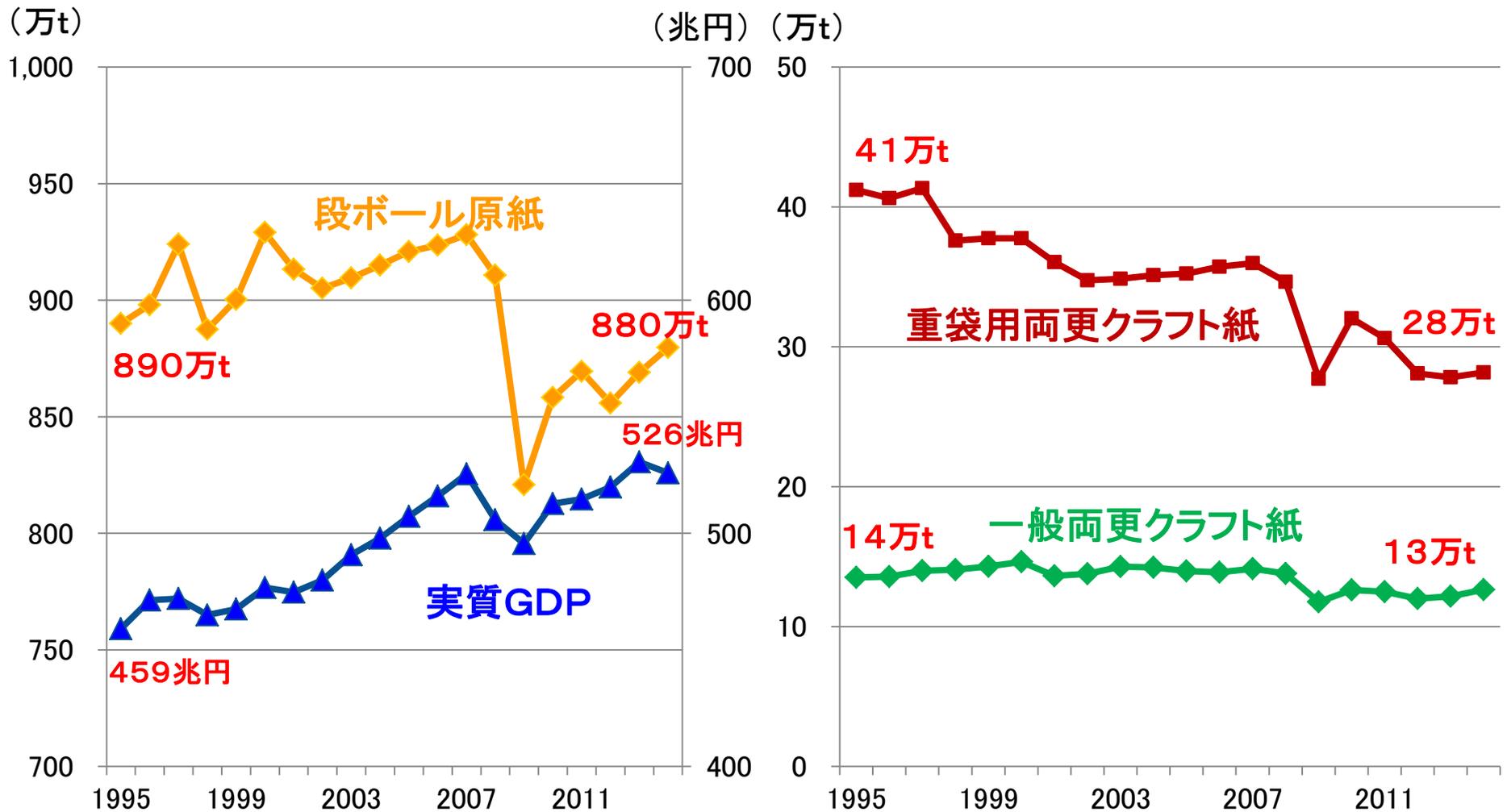
特種東海製紙 島田工場

- ・ 立地 静岡県島田市
- ・ 竣工 1910年（明治43年）
- ・ 面積 46万㎡
- ・ 抄紙機 6台 うち、段ボール原紙3台、クラフト2台
- ・ 年間生産量 段ボール原紙55万t、両更クラフト紙7.3万t 他

・特長

- 自製クラフトパルプによる良質な段ボール原紙、両更クラフト紙
- 日本の中心に位置する立地
優位な製品物流費、原材料調達力（古紙、木材チップ）
- 化石燃料依存からの脱却によるエネルギーコストの優位性
自社内で発生するペーパースラッジを燃焼させる廃棄物ボイラーと
木質系燃料を活用したバイオマスボイラーを先端的に導入
新バイオマスボイラー建設による購入電力の大幅削減計画

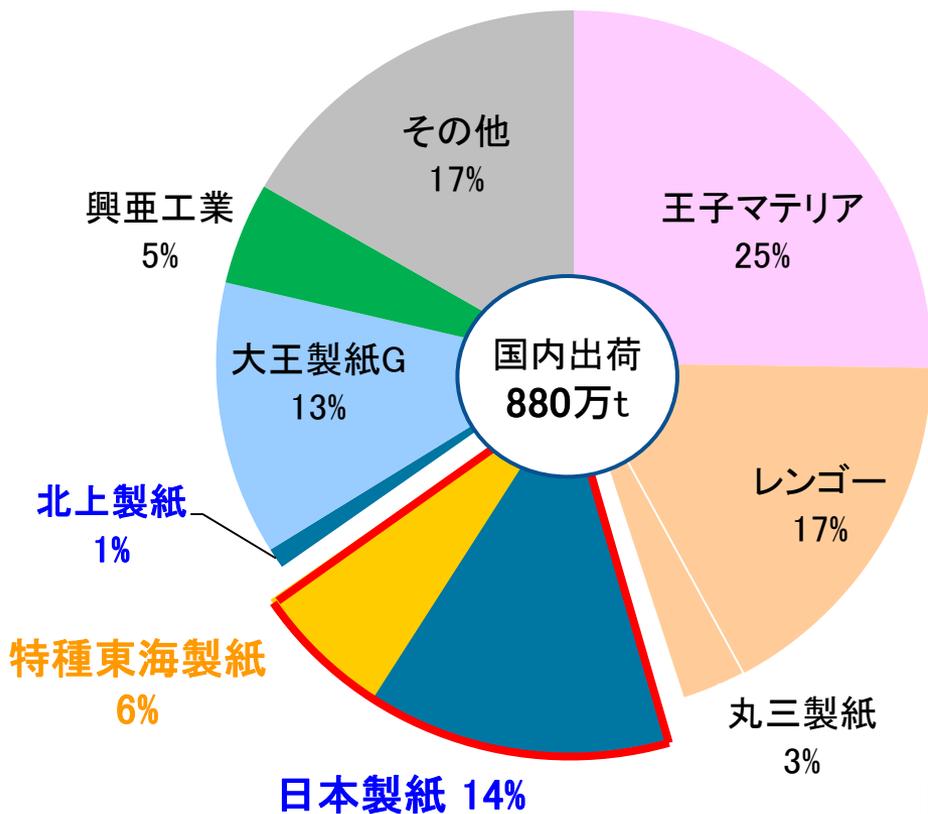
事業環境認識 国内需要推移(1995~2014)



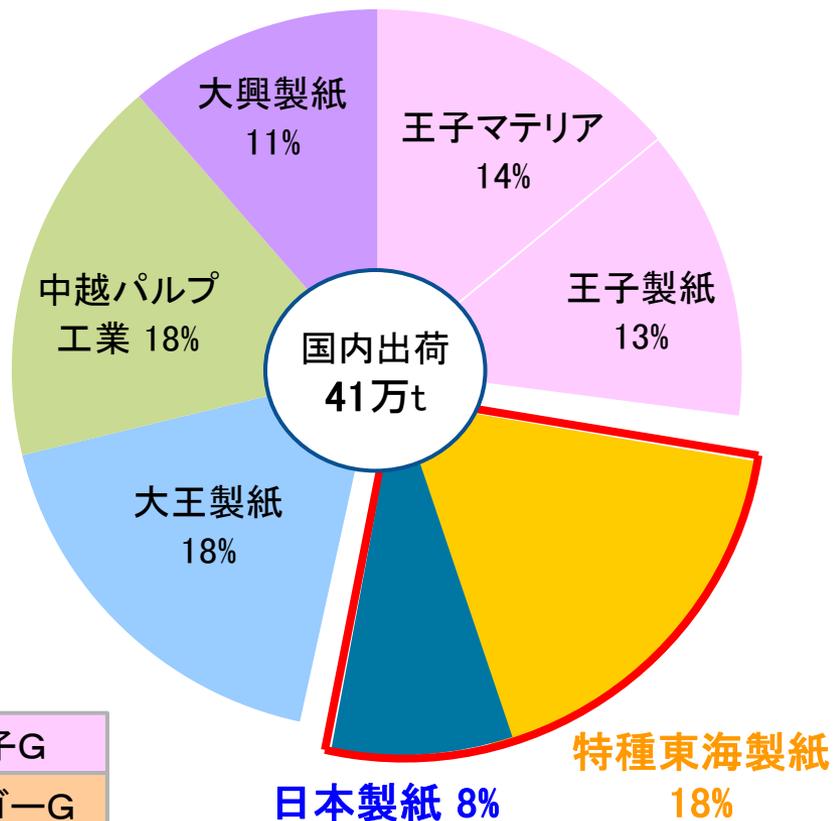
内閣府『国民経済計算(GDP統計)』
 日本製紙連合会『紙・板紙統計年報 国内出荷高』

業界シェア(2014)

段ボール原紙
(市場規模 約5,000億円)



重袋用・一般両更クラフト紙
(市場規模 約400億円)

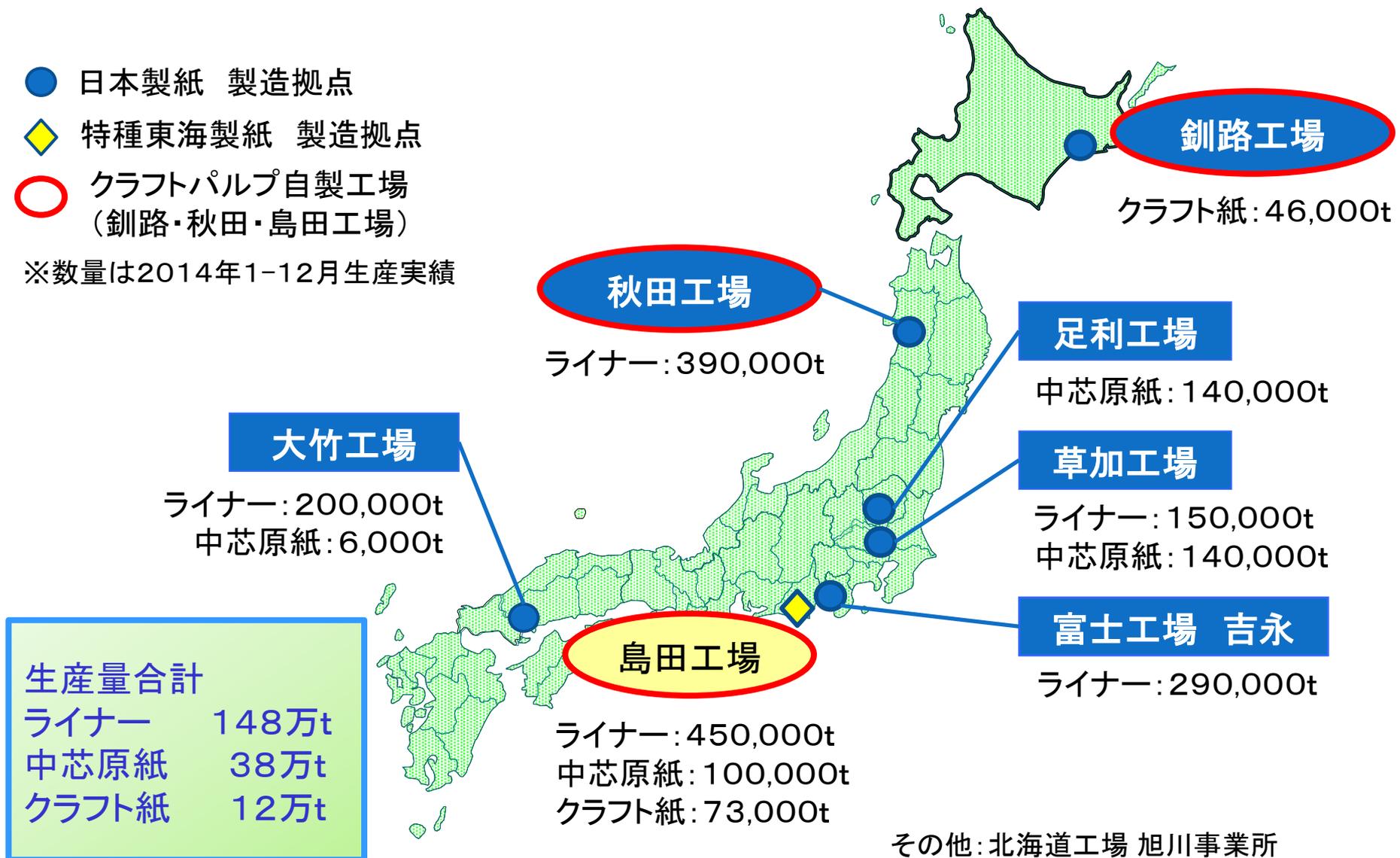


※国内出荷シェア
※市場規模は、いずれも推定値

主要生産拠点

- 日本製紙 製造拠点
- ◆ 特種東海製紙 製造拠点
- クラフトパルプ自製工場
(釧路・秋田・島田工場)

※数量は2014年1-12月生産実績



生産量合計
 ライナー 148万t
 中芯原紙 38万t
 クラフト紙 12万t

その他: 北海道工場 旭川事業所
 ライナー600t、クラフト紙700t

事業提携の狙い

想定されるシナジー

- 島田工場のさらなる飛躍
両社の生産ノウハウを結集し、品質・コスト競争力を強化
 - 原材料、燃料、資材等の共同調達
 - 効率的な販売体制の確立
段ボール原紙180万t体制による効率的販売の推進
-
- **家庭紙及び特殊紙分野においても提携を模索**
両社の強みを活かしたシナジーの追求

ステークホルダーにとっての 本事業提携の意味合い

顧客

- ・品質とサービスのさらなる向上
- ・安定供給体制の強化

従業員

- ・企業の安定的発展
- ・モチベーションの向上



日本製紙株式会社
NIPPON PAPER INDUSTRIES



特種東海製紙株式会社

株主

- ・企業価値向上
- ・重複投資回避による資金の有効活用

今後のスケジュール

- 2015. 10. 7(本日) 基本合意書締結
- 2016. 4(予定) 最終合意書締結
- 2016. 6(予定) 特種東海製紙 定時株主総会
(島田工場分社化について承認決議)
- 2016. 10(予定) 本取引の完了
(新製造会社及び新販売会社設立)